

第79回コンサートへの誘い 上野耕平サクソフォンコンサート



上野耕平

©S.Ohsugi



山中惇史

世界的な指揮者山田和樹氏には「耕平は、1音を聴いただけで、ただ者ではないと思った！」またボストンポップスオーケストラの音楽監督であり指揮者であるKeith Lockhartには「サクソフォンのこんな音聴いた事がない。目が飛び出るほど驚いた！」と言わしめた。

第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門において、史上最年少で第1位ならびに特別大賞を受賞。

2014年第6回アドルフ・サクソ国際コンクールにおいて、第2位を受賞するなど実力、人気ともに国内若手アーティストの中でもトップクラスのクラシックサクソフォン奏者。

「題名のない音楽会」、「情熱大陸」などメディアにも多数出演し、現在NHK-FM「×(かける)クラシック」の司会も務めている。また車や鉄道をこよなく愛し「笑神様は突然に…鉄道BIG4」「友近・礼二の妄想トレイン」など趣味である電車の番組にも出演している。

サクソカルテット「The Rev Saxophone Quartet」、吹奏楽「ばんだウインドオーケストラ」のコンサートマスターとしても活躍中。

是非サクソフォンの響を堪能ください!

と き / 10月10日(日)午後2時開演(午後1時30分開場)
ところ / 町民会館ホール
入場料 / 一般 2,500円 高校生以下 1,000円
 <全指定席> ※未就学児の入場はご遠慮ください。
入場券 / 町民会館窓口にて販売中。電話予約受け付け中。
 チケットぴあでも販売中。(Pコード 194 - 526)
出演 / 上野耕平、山中惇史(ピアノ)

奥山景布子講演会「『葵の残葉』余話～歴史小説家が語る尾張徳川家と明治維新～」

小説家 名古屋大学卒。文学博士(名古屋大学)。

高校教諭、大学講師などを経たのち、「平家蟹異聞」(『源平六花撰』所収)で第87回オール讀物新人賞を受賞。『びいどろの火』で第15回松本清張賞候補、2016年、『たらふくつるてん』で第22回中山義秀文学賞候補となる。『葵の残葉』で第37回新田次郎文学賞、第8回本屋が選ぶ時代小説大賞を受賞。平成29年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞受賞。

古典文学研究者としての経験を生かした精緻な歴史小説の構築を目指す一方、演芸好きが高じて自ら「けふこの落語会」を主催するなど、執筆以外にも活動中。

最新刊は幕末の桑名藩主・松平定敬の最後の抵抗を描いた『流転の中将』。

【講師からのメッセージ】

本講演会では、「葵の残葉」「流転の中将」の執筆を通して感じたことをお話いたします。令和4年2月20日は旧暦では1月20日にあたり、東郷町にもゆかりのある尾張藩士・渡辺新左衛門在綱が「青松葉事件」で非業の死を遂げた日です。深い哀悼の意を捧げつつ、会場にお伺いいたします。

と き / 令和4年2月20日(日) 午後2時開演(午後1時30分開場)
ところ / いこまい館 多目的室A
入場料 / 一般 1,000円 高校生以下 500円 <全指定席> ※未就学児の入場はご遠慮ください。
入場券 / 町民会館窓口にて11月20日(土)午前9時から発売。電話予約は11月22日(月)午前9時から。
 チケットぴあでの発売は11月20日(土)午前10時から。(Pコード 646 - 905)
出演 / 奥山景布子



奥山景布子

沖縄出身の歌手によるコンサート



沖縄音楽を代表する歌手によるコンサートを予定。三線の音色とともに沖縄民謡から世界の名曲までを演唱する予定です。

真冬の東郷町に沖縄の南の風を音楽とともに運んでいきます。

と き / 令和4年2月26日(土) 開催予定
ところ / 町民会館ホール



アーティストは
12月中旬 HPで
公開します!!